

非財務データ

環境

気候変動

		バウンダリ	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
GHG 排出量 ※1	Scope1 + 2 (マーケット基準) 排出量合計			25,423	25,698	29,710	25,235
	Scope1		t-CO ₂	12,395	12,721 ✓	16,617 ✓	18,639 ✓
	Scope2 (ロケーション基準)			—	12,881 ✓	13,782 ✓	12,448 ✓
	Scope2 (マーケット基準)			13,028	12,977 ✓	13,093 ✓	6,596 ✓
	排出原単位 (Scope1 + 2) ※4		t-CO ₂ / 売上 10 億円	26.7	24.2	24.3	19.0
	Scope3 排出量合計 ※6			11,329	9,645 ✓	327,223 ✓	216,302 ✓
	カテゴリ 1 ※5: 購入した製品・サービス			—	—	288,657 ✓	144,987 ✓
	カテゴリ 2: 資本財			—	—	—	30,682 ✓
	カテゴリ 3: Scope1,2 に含まれない燃料及 びエネルギー活動	グループ ※2,3		—	—	4,758 ✓	5,209 ✓
	カテゴリ 4 ※5: 上流の輸送・配送			—	—	3,292 ✓	551 ✓
	カテゴリ 5: 廃棄物		t-CO ₂	1,445	1,154 ✓	3,038 ✓	3,934 ✓
	カテゴリ 6: 出張			515	601 ✓	1,575 ✓	1,490 ✓
	カテゴリ 7: 通勤			9,369	7,889 ✓	8,408 ✓	11,091 ✓
	カテゴリ 9: 下流の輸送・配送			—	—	35 ✓	18 ✓
カテゴリ 11: 販売した製品の使用			—	—	17,430 ✓	18,311 ✓	
カテゴリ 12: 使用者による製品の廃棄時の 輸送、処理			—	—	30 ✓	29 ✓	
エネルギー消費 量	ガソリン等	グループ	百万 kWh	47.5	48.3	66.9	77.4
	電気使用量 (うち再生可能エネルギー/グリーン電力)	グループ	百万 kWh	26.3 (—)	26.5 (—)	28.8 (2.7)	24.3 (3.8)
	エネルギー消費量合計 ※6	グループ	百万 kWh	73.8	74.8	95.7	101.8

- ※1 算定した排出量の正確性・信頼性を確保するため、温室効果ガス排出実績の✓を付した数値について、2021年度、2022年度はソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社、2023年度はLRQAリミテッド社による第三者保証を受けています。
- ※2 Scope1・2およびScope3カテゴリ3: パーソルホールディングスおよび国内連結子会社の主要拠点、また主要な海外連結子会社の主要拠点を対象に算出しています。
- ※3 Scope3 (カテゴリ3を除く): 当社および国内連結子会社の主要拠点を対象に算出しています。
- ※4 2023年度よりIFRS基準ベースの売上収益をもとに算出しています。
- ※5 Scope3カテゴリ1および4は、算定の精緻化を行ったことに伴い減少しています。
- ※6 合計は、各項目で表記されない少数点以下の値も含んだ集計結果を示しており、表内の数値の合計と一致しない場合があります。

汚染防止と資源循環

		バウンダリ	単位	2021年度	2022年度	2023年度
廃棄物・リサイクル量	リサイクル廃棄物 (資源ごみ ～紙類・ビン・缶・ペットボ トル)	※1	t	28.2	38.6	55.8
	非リサイクル廃棄物 (その他一般廃棄物)	※1	t	93.6	133.2	148.3
	非リサイクル廃棄物 (産業廃棄物) ※5	※2	t	511.3	557.0	671.5
	特別管理廃棄物 (廃油)	※2	t	—	1.4	1.5
廃棄物排出量合計 ※5 ※6		—	t	633.1	730.2	877.1
水使用量・排水量	上水道使用量	※3	m ³	10,194	10,337	10,850
原材料使用量	コピー用紙使用量	※4	t	222	209	201
グリーン購入率	グリーン購入率	※4	%	36.7	33.7	33.9

- ※1 集計範囲は主要オフィスである南青山ビル・グランフロント大阪・TS池袋
- ※2 集計範囲はパーソルファクトリーパートナーズ(福島・宮崎・米子)、パーソルクロステクノロジー(2022年度～)
- ※3 集計範囲は主要オフィスである南青山ビル・TS池袋
- ※4 集計範囲は単体および国内グループのうち、パーソルホールディングスにて購入している間接材を対象としています。
- ※5 集計期間の精緻化を行ったことに伴い、2022年度の数値を訂正しました。
- ※6 廃棄物排出量の増加は、事業規模拡大によるものです。